

SSH だより

vol. 3

令和4年9月5日発行

8月に行われたイベントを3つご紹介します

トキ野生復帰プロジェクト研修

令和4年7月31日(日)から8月2日(火)までトキ交流館（佐渡市）を拠点に、トキ野生復帰プロジェクト研修を行いました。この研修は平成20年に開始し、今回で13回目となりました。今年度は抽選の結果、生徒10名（1年生5名、2年生5名）が参加し、トキの営巣林となる里山林の伐採整備や、トキのえさ場となる水田ビオトープの水質調査や生物調査を行いました。



トキ交流会館の裏手のビオトープ



鉋やチェーンソーでの伐採作業



胴長を履いて水質調査&生物採集



実験室で生物同定



トキを間近に観察して・・・



トキの羽も拾える！

2泊3日の全日程を通して、新潟大学・佐渡自然共生科学センターの本間航介先生やティーチングアシスタント(TA)の大学院1年生から指導を頂き、トキの生態や里山の保全、さらに大学の農学・自然環境系の学部への理解を深めることができました。

研修参加記念：
特製ペーパークラフト



SSH 生徒研究発表会（全国大会）

令和4年8月3日(水)と4日(木)に兵庫県神戸市で行われた SSH 生徒研究発表会に参加してきました。本校からは理数コース3年・物理班の代表生徒3名が参加しました。全国から200校以上の学校が参加し、1日目は各学校のブースでのポスター発表、2日目は審査員によって選出された代表校による全体発表が行われました。



受付（1時間くらい並びました・・・）



ポスター発表の様子

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインでの研究発表が多くなっている中、全国の高校生や教員、審査員の方に向けて対面形式で研究発表することができました。本校のブースはたくさんの生徒が訪れていて、発表する生徒たちのいきいきとした表情がとても印象的でした。生徒たちは他校のポスター発表を聞き、研究レベルの高さに刺激を受けているようでした。全体会での審査員の講評では、既存の研究を継続することや、実験結果を踏まえて仮説を再設定することが重要である、という話がありました。今後の本校の研究に活かしていきたいと思います。



2日目の全体会



会場の前で記念撮影

アルビジョブスク～ユズの恩返し ～新潟南高校編

令和4年8月24日(水)、アルビレックス新潟の島田譲選手が来校され、本校生徒を対象に「自分の意志で切り開くキャリア」という題目で職業講話をしていただきました。これは、江風SSG（普通コース2年の探究学習）で社会学に取り組んでいる班の1つが企画・立案し、アルビレックス新潟に依頼して実現したものです。当日の写真や動画は以下のwebページをご覧ください！

アルビレックス新潟 【フォト日記】「アルビジョブスク～ユズの恩返し～新潟南高校編」（2022/8/25）
<https://www.albirex.co.jp/news/63073>

